

第11章 過去形

① 一般動詞の過去形

動詞の最後に **ed** をつけます。例) They played tennis. 「彼らはテニスをしました」

1. 彼らは私を手伝いました → They () me.
2. 私は車を洗いました → I () my car.
3. 彼は窓を開けました → He () the window.

② 過去形の否定文・疑問文・答え方

do や **does** の代わりに **did** を使います。

- 例) 彼らはテニスをしませんでした → They didn't play tennis.
 彼らはテニスをしましたか? → Did they play tennis?
 はい、しました → Yes, they did.
1. 私は英語を勉強しませんでした → I () study English.
 2. あなたは英語を勉強しましたか? → () you study English?
 3. はい、しました → Yes, I ().

③ edのつけ方

1. **e** で終わる語は **d** だけつける 例) like → liked
2. **短母音+子音字**で終わる語は、**最後の文字をもう1つつけて ed** 例) stop → stopped
3. **子音字+y**で終わる語は、**y** を **i** に変えて **ed** 例) studied

それ以外の語は ed をつけるだけです。

1. love → ()
2. cry → ()
3. stay → ()
4. live → ()
5. watch → ()
6. drop → ()

④ 不規則動詞

ed のつけ方の規則に当てはまらない動詞を不規則動詞といいます。

- 例) know [ノウ] 「知っている」 → knew [ニュー]
 go [ゴウ] 「行く」 → went [ウエント]
 speak [スピーク] 「話す」 → spoke [スポウク]

⑤ be動詞の過去形

is, am は **was**、**are** は **were** に変えます。例) She was a teacher. 「彼女は先生でした」

was not は **wasn't**、**were not** は **weren't** と短縮出来ます。

1. 私は医者でした → I () a doctor.
2. 彼らは医者でした → They () doctors.
3. 彼らは医者ではありませんでした → They () doctors.

チェック	問題	答え
	① 彼らはテニスを <u>しました</u>	They play <u>ed</u> tennis.
	② 彼らはテニスを <u>しませんでした</u>	They <u>didn't</u> play tennis.
	② 彼らはテニスを <u>しましたか?</u>	<u>Did</u> they play tennis?
	② はい、 <u>しました</u>	Yes, they <u>did</u> .
	③ eで終わる語	d だけつける 例) like <u>d</u>
	③ 短母音+子音字で終わる語	最後の文字をもう1つつけて ed 例) stop <u>ped</u>
	③ 子音字+yで終わる語	y を i に変えて ed 例) stud <u>ied</u>
	⑤ 彼女は先生 <u>でした</u>	She <u>was</u> a teacher.
	⑤ 彼らは先生 <u>でした</u>	They <u>were</u> teachers.
	⑤ 彼らは先生 <u>ではありませんでした</u>	They <u>weren't</u> teachers.
	← チェックした日	
	← 間違った数	

第11章 過去形

名前

1. ()を埋めましょう。(説明①②参照)

- ① 彼女はバドミントンをします → She () badminton.
- ② 彼女はバドミントンをしません → She () () badminton.
- ③ 彼女はバドミントンをしますか? → () she () badminton?
- ④ はい、します → Yes, she ().
- ⑤ いいえ、しません → No, she ().
- ⑥ 彼女はバドミントンをしました → She () badminton.
- ⑦ 彼女はバドミントンをしませんでした → She () () badminton.
- ⑧ 彼女はバドミントンをしましたか? → () She () badminton?
- ⑨ はい、しました → Yes, she ().
- ⑩ いいえ、しませんでした → No, she ().

2. 過去形にしましょう。(説明③④参照)

- ① play [プレイ] → ()
- ② love [ラブ] → ()
- ③ study [スタディ] → ()
- ④ like [ライク] → ()
- ⑤ stop [ストップ] → ()
- ⑥ start [スタート] → ()
- ⑦ cry [クライ] → ()
- ⑧ go [ゴウ] → ()
- ⑨ know [ノウ] → ()
- ⑩ speak [スピーク] → ()

3. ()を埋めましょう。(説明⑤参照)

- ① 長嶋さんは野球選手です → Mr. Nagashima () a baseball player.
- ② 長嶋さんは野球選手ではありません → Mr. Nagashima () a baseball player.
- ③ 長嶋さんは野球選手ですか? → () Mr. Nagashima a baseball player?
- ④ はい、そうです → Yes, he ().
- ⑤ いいえ、違います → No, he ().
- ⑥ 長嶋さんは野球選手でした → Mr. Nagashima () a baseball player.
- ⑦ 長嶋さんは野球選手ではありませんでした → Mr. Nagashima () a baseball player.
- ⑧ 長嶋さんは野球選手でしたか? → () Mr. Nagashima a baseball player?
- ⑨ はい、そうでした → Yes, he ().
- ⑩ いいえ、違いました → No, he ().

4. 並べ替えましょう[不要な語が1語あります]。(説明①～⑤参照)

- ① 田中さんは科学を勉強しました (Mr. Tanaka/ science/ studied/ studied)
→ _____
- ② その歌手は日本に来ませんでした (the singer/ doesn' t/ didn' t/ to Japan/ come)
→ _____
- ③ あなたは昨日英語を勉強しましたか? (you/ did/ study/ studied/ yesterday/ English)
→ _____
- ④ 彼女はスペインに行きました (she/ to Spain/ goed/ went)
→ _____
- ⑤ 彼はコメディアンでした (he/ was/ were/ a comedian)
→ _____

第12章 助動詞(応用編)

① 助動詞

must[マスト] → 「～しなければならない」

should [シュド] → 「～すべきだ」

- 例) 彼はテニスをしなければならない → He **must** play tennis.
 1. 彼らは英語を話すべきだ → They () speak English.
 2. 彼は日本語を話さなければならない → He () speak Japanese.
 3. 私は英語を教えるべきだ → I () teach English.

② 助動詞と似た意味を持つ語

will = be going to 例) He **will** play tennis. = He **is going to** play tennis.

can = be able to 例) He **can** play tennis. = He **is able to** play tennis.

1. 彼らは英語を話すことができる → They () () to speak English.
 2. 彼は日本語を話すつもりです → He () () to speak Japanese.
 3. 私は英語を教えることができる → I () () to teach English.

③ be going to / be able to の否定文・疑問文

否定文・疑問文は be 動詞と同じパターンです。

- 例) 彼はテニスをするつもりではない → He **isn't going to** play tennis.
 彼はテニスをするつもりですか? → **Is** he **going to** play tennis?
 1. 彼らは英語を話すつもりではない → They () () to speak English.
 2. 彼らは英語を話すつもりですか? → () () going to speak English?
 3. はい、するつもりです → Yes, () ().

④ have to

have to[ハフトウ]は「～しなければならない」という意味。**3人称単数は、has to**[ハストウ]。

- 例) 私はテニスをしなければならない → I **have to** play tennis.
 彼はテニスをしなければならない → He **has to** play tennis.
 1. 彼らは英語を話さなければならない → They () () speak English.
 2. 彼は日本語を話さなければならない → He () () speak Japanese.
 3. 私は英語を教えなければならない → I () () teach English.

⑤ have to の否定文・疑問文

否定文や疑問文は一般動詞と同じパターンです。

- 例) 彼はテニスをしなくてもいい → He **doesn't have to** play tennis.
 彼はテニスをせねばなりませんか? → **Does** he **have to** play tennis?
 1. 彼らは英語を話さなくてもいい → They () () to speak English.
 2. 彼らは英語を話さねばなりませんか? → () they () to speak English?
 3. いいえ、話さなくてもいいです → No, () ().

チェック	問題	答え
	① must [マスト]	「～しなければならない」
	① should [シュド]	「～すべきだ」
	② He can play tennis. =	He is able to play tennis.
	② He will play tennis. =	He is going to play tennis.
	③ 彼はテニスを <u>するつもりではない</u>	He isn't going to play tennis.
	③ 彼はテニスを <u>するつもりですか?</u>	Is he going to play tennis?
	④ 私はテニスを <u>しなければならない</u>	I have to play tennis.
	④ 彼はテニスを <u>しなければならない</u>	He has to play tennis.
	⑤ 彼はテニスを <u>しなくてもいい</u>	He doesn't have to play tennis.
	⑤ 彼はテニスを <u>せねばなりませんか?</u>	Does he have to play tennis?
	← チェックした日	
	← 間違った数	

第12章 助動詞(応用編)

名前

1. ()を埋めましょう。(説明①参照)

- ① 松坂は野球をしなければなりません → Matsuzaka () () baseball.
② 松坂は野球をしてはいけません → Matsuzaka () () baseball.
③ 松坂は野球をしなければなりませんか? → () Matsuzaka () baseball?
④ 彼はサッカーをすべきです → He () () soccer.
⑤ 彼はサッカーをすべきではありません → He () () soccer.
⑥ 彼はサッカーをすべきですか? → () he () soccer?
⑦ はい、するべきです → Yes, he ().
⑧ いいえ、するべきではありません → No, he ().
⑨ あなたは宿題をしなければなりません → You () () your homework.
⑩ あなたは宿題をするべきです → You () () your homework.

2. ()を埋めましょう。(説明②③参照)

- ① 宮里は野球をすることが出来る → Miyazato () () to play golf.
② 宮里は野球をすることが出来ない → Miyazato () () to play golf.
③ 宮里は野球をすることが出来ますか? → () Miyazato () to play golf?
④ はい、出来ます → Yes, she ().
⑤ いいえ、出来ません → No, she ().
⑥ 秋山はその曲を歌うつもりです → Akiyama () () to sing the song.
⑦ 秋山はその曲を歌うつもりではありません → Akiyama () () to sing the song.
⑧ 秋山はその曲を歌うつもりですか? → () Akiyama () to sing the song?
⑨ はい、歌うつもりです → Yes, he ().
⑩ いいえ、歌わないつもりです → No, he ().

3. ()を埋めましょう。(説明④⑤参照)

- ① 私達は宿題をしなければならない → We () () do our homework.
② 私達は宿題をしなくてもいいです → We () () to do our homework.
③ あなたは宿題をしなければなりませんか? → () you () to do our homework?
④ はい、しなければなりません → Yes, I ().
⑤ いいえ、しなくてもいいです → No, I ().
⑥ 武蔵は戦わなければならない → Musashi () () fight.
⑦ 武蔵は戦わなくてもいいです → Musashi () () to fight.
⑧ 武蔵は戦わなければなりませんか? → () Musashi () to fight?
⑨ はい、戦わなければなりません → Yes, he ().
⑩ いいえ、戦わなくてもいいです → No, he ().

4. 並べ替えましょう[不要な語が1語あります]。(説明①～⑤参照)

- ① 彼はカナダに行くつもりです (He/ go/ Canada/ is/ going/ able/ to/ to)
→ _____
② 彼女はその試合に勝つことが出来る (she/ able/ to/ is/ the game/ will/ win)
→ _____
③ あなた達は英語を勉強しなければならない (you/ to/ study/ English/ has/ have)
→ _____
④ 彼は東京に行かなくてもいい (he/ go/ has/ have/ to/ doesn' t/ to Tokyo)
→ _____
⑤ あなたは英語を話すべきです (can/ you/ speak/ English/ should)
→ _____

第13章 to不定詞・動名詞

① to不定詞

to+動詞で、「～すること」「～するために」「～するための」の3つの意味を表します。

例) to study「勉強すること」「勉強するために」「勉強するための」

1. I like to play tennis. → 私はテニスを()が好きです
2. I went to Tokyo to play tennis. → 私はテニスを()東京に行った
3. I have a racket to play tennis. → 私はテニスを()ラケットを持っている

② 「(人)に～するように言う/頼む/望む」

動作主はtoの前につけます。

例) I want you to study English. 「私はあなたに英語を勉強してほしい」

1. 私は彼に車を洗うことを頼んだ → I asked () () wash the car.
2. 私は彼女にテニスをするよう言った → I told () () play tennis.
3. 私はあなたに彼を手伝ってほしい → I want () () help him.

③ 疑問詞+to不定詞

疑問詞+to不定詞で「～すべきか」という意味です。

例) what to study「何を勉強すべきか」

how to study「どのように勉強すべきか＝勉強の仕方」

1. 私はどこでテニスをすべきか知らない → I don't know () to play tennis.
2. 彼はいつテニスをすべきか知っている → He knows () to play tennis.
3. 私はテニスの仕方を知っている → I know () to play tennis.

④ to不定詞を使うその他の文

too~to...は「～すぎて...できない」という意味です。 例) He is too busy to study.

would like toは「～したい」という意味です。 例) I would like to study English.

1. 私は忙しすぎてテニスができない → I am () busy () play tennis.
2. 彼は年を取りすぎて運転できない → He is () old () drive.
3. 私は日本語を勉強したい → I () () to study Japanese.

⑤ 動名詞

動詞+ingで、「～すること」という意味です。

例) I like studying English. 「私は英語を勉強することが好きです」

「～すること」という意味で、to不定詞と動名詞どちらを使っても構いませんが、例外があります。

後に動名詞がつかない動詞 → want/hope/wish「望む」, decide「決める」

後にto不定詞がつかない動詞 → finish/stop「やめる」, enjoy「楽しむ」

「勉強すること」という意味になるように、_____ にstudyingかto studyを入れなさい。

1. 彼は英語を勉強することを楽しんだ → He enjoyed _____ English.
2. 花子は英語を勉強することに決めた → Hanako decided _____ English.
3. 私は英語を勉強したい → I want _____ English.

チェック	問題	答え
	① to不定詞の意味(3つ)	「すること」「するために」「ための」
	② 私は英語を勉強したい	I <u>want to</u> study English.
	② 私はあなたが英語を勉強してほしい	I want <u>you</u> to study English.
	③ 私は何を勉強すべきか知らない	I don't know <u>what to study</u> .
	③ 私は勉強の仕方を知らない	I don't know <u>how to study</u> .
	④ He is <u>too busy to study</u> .	彼は忙し <u>すぎて勉強できない</u>
	④ I <u>would like to</u> study English.	私は英語を勉強 <u>したい</u>
	⑤ I like <u>studying</u> English.	私は英語を <u>勉強すること</u> が好きです
	⑤ 後に動名詞がつかない動詞(4つ)	<u>want, hope, wish, decide</u> 「決める」
	⑤ 後にto不定詞がつかない動詞(3つ)	<u>finish, stop, enjoy</u> 「楽しむ」
	← チェックした日	
	← 間違った数	

第13章 to不定詞・動名詞 名前

1. ()を埋めましょう。(説明①②参照)

- ① 松井は野球をすることに決めた → Matsui decided () () baseball.
- ② 松井は野球をするためにNYに行った → Matsui went to NY () () baseball.
- ③ 松井は野球をするための本を持っている → Matsui has a book () () baseball.
- ④ 私は歌うためにカラオケルームに行った → I went to a Karaoke room () ().
- ⑤ 私は歌いたい → I want () ().
- ⑥ 私は彼女に歌ってほしい → I want () () ().
- ⑦ 私はあなたに英語を勉強してほしい → I want () () () English.
- ⑧ 私はあゆみに歌うよう言った → I told () () ().
- ⑨ 高田さんはボブに戦うよう頼んだ → Mr. Takada asked () () ().
- ⑩ 皆清原にプレイしてほしい → Everybody wants () () ().

2. ()を埋めましょう。(説明③④参照)

- ① 田中さんは何を勉強すべきか知っている → Mr. Tanaka knows () () study.
- ② 田中さんはいつ勉強すべきか知っている → Mr. Tanaka knows () () study.
- ③ 田中さんは勉強の仕方を知っている → Mr. Tanaka knows () () study.
- ④ 私はいつ東京に行くべきか分からない → I don't know () () go to Tokyo.
- ⑤ 私は東京への行き方が分からない → I don't know () () go to Tokyo.
- ⑥ 王は年を取りすぎてプレイできない → Oh is () () () play.
- ⑦ あやは忙しすぎて勉強できない → Aya is () () () study.
- ⑧ この箱は大きすぎて運べない → This box is () () () carry.
- ⑨ 私達はロスに行きたい → We () () () go to L. A.
- ⑩ 私はここに住みたい → I () () () live here.

3. 正しいものを選びましょう。両方OKな場合は両方○をしましょう。(説明⑤参照)

- ① 彼はゴルフをすることを楽しんだ → He enjoyed (to play playing) golf.
- ② 彼はゴルフをすることを始めた → He started (to play playing) golf.
- ③ 彼はゴルフをすることを望む → He hopes (to play playing) golf.
- ④ 彼はゴルフをすることを決めた → He decided (to play playing) golf.
- ⑤ 彼はゴルフをすることをやめた → He stopped (to play playing) golf.
- ⑥ 彼はゴルフをすることを望む → He wants (to play playing) golf.
- ⑦ 彼はゴルフをすることが好きだ → He likes (to play playing) golf.
- ⑧ 彼はゴルフをすることを終えた → He finished (to play playing) golf.
- ⑨ 彼はゴルフをすることを望む → He wishes (to play playing) golf.
- ⑩ 彼はゴルフをすることが大好きだ → He loves (to play playing) golf.

4. 並べ替えましょう[不要な語が1語あります]。(説明①～⑤参照)

- ① レナはケーキを作るための本を買った (Lena/ a book/ making/ to make/ bought/ a cake)
→ _____
- ② 私はイチローに日本に戻ってきてほしい (I/ Ichiro/ want/ back to Japan/ to/ come/ coming)
→ _____
- ③ 彼はいつ歌うべきか分からなかった (he/ when/ to sing/ singing/ didn't know)
→ _____
- ④ 彼は年すぎて戦えない (he/ can't/ to/ too/ is/ fight/ old)
→ _____
- ⑤ 彼女は試合することを楽しんだ (she/ enjoyed/ the game/ to play/ playing)
→ _____

第14章 There is の文

① 「～があります」

There is を使います。例) 机の上に本があります → There is a book on the desk.
 複数の方が「ある」という場合、**is の代わりに are** を使います。

- 私の部屋に机があります → () () a desk in my room.
- 私の部屋に2個机があります → () () 2 desks in my room.
- その公園に3匹犬がいます → () () 3 dogs in the park.

② There is の文の疑問文・否定文・答え方

be 動詞と同じパターンです。例) Is there a book on the desk? / Yes, there is.

「ありました」という場合、**be 動詞を過去形に**します。例) There was a book on the desk.

- その公園に犬がいません → () () a dog in the park.
- その公園に犬がいますか? → () () a dog in the park?
- いいえ、いません → No, () ().

③ 「たくさん」

数が「たくさん」は **many**、量が「たくさん」は **much** です。**a lot of** は数と量どちらにも使えます。

例) たくさんのイヌ → many dogs = a lot of dogs
 たくさんの水 → much water = a lot of water

量は数えられないので単数扱いです。例) There is much wine in the glass.

- 机の下にたくさん本があります → There are () books under the desk.
- グラスの中にたくさん水があります → There is () water in the glass.
- その公園にたくさん犬がいます → There are () dogs in the park.

④ 「少し」「ほとんどない」

数が「少し」は **a few**、量が「少し」は **a little** です。

例) 机の上に少し本があります → There are a few books on the desk.
 グラスの中に少しワインがあります → There is a little wine in the glass.

a を取ると、「ほとんどない」という意味になります。

例) 机の上に本がほとんどありません → There are few books on the desk.
 グラスの中にワインがほとんどありません → There is little wine in the glass.

- 机の下に少し本があります → There are a () books under the desk.
- グラスの中に少し水があります → There is a () water in the glass.
- グラスの中に水がほとんどありません → There is () water in the glass.

チェック	問題	答え
	① 机の上に本が <u>あります</u>	<u>There is</u> a book on the desk.
	① 机の上に2冊の本が <u>あります</u>	<u>There are</u> 2 books on the desk.
	② 机の上に本が <u>ありません</u>	There <u>isn't</u> a book on the desk.
	② 机の上に本が <u>ありますか?</u>	<u>Is</u> there a book on the desk?
	② <u>はい、あります</u>	<u>Yes, there is.</u>
	③ 数が「たくさん」	many (= a lot of)
	③ 量が「たくさん」	much (= a lot of)
	③ グラスにたくさんワインが <u>あります</u>	There <u>is</u> much wine in the glass.
	④ 数が「少し」	a few
	④ 量が「少し」	a little
	④ 数が「ほとんどない」	few
	④ 量が「ほとんどない」	little
	← チェックした日	
	← 間違った数	

第14章 There is の文 名前

1. () を埋めましょう。(説明①②参照)

- ① 筆箱にペンがあります → () () a pen in the pencil case.
- ② 筆箱にペンがありません → () () a pen in the pencil case.
- ③ 筆箱にペンがありますか? → () () a pen in the pencil case?
- ④ はい、あります → Yes, () ().
- ⑤ いいえ、ありません → No, () ().
- ⑥ 筆箱に3本ペンがあります → () () 3 pens in the pencil case.
- ⑦ 筆箱に3本ペンがありません → () () 3 pens in the pencil case.
- ⑧ 筆箱に3本ペンがありますか? → () () 3 pens in the pencil case?
- ⑨ はい、あります → Yes, () ().
- ⑩ いいえ、ありません → No, () ().

2. () を埋めましょう。(説明①②参照)

- ① 筆箱にペンがありました → () () a pen in the pencil case.
- ② 筆箱にペンがありませんでした → () () a pen in the pencil case.
- ③ 筆箱にペンがありましたか? → () () a pen in the pencil case?
- ④ はい、ありました → Yes, () ().
- ⑤ いいえ、ありませんでした → No, () ().
- ⑥ 筆箱に3本ペンがありました → () () 3 pens in the pencil case.
- ⑦ 筆箱に3本ペンがありませんでした → () () 3 pens in the pencil case.
- ⑧ 筆箱に3本ペンがありましたか? → () () 3 pens in the pencil case?
- ⑨ はい、ありました → Yes, () ().
- ⑩ いいえ、ありませんでした → No, () ().

3. () を埋めましょう。(説明③④参照)

- ① 彼の家にかくさん犬がいます → There () () dogs in his house.
- ② プールにかくさん水があります → There () () water in the pool.
- ③ その山にかくさん雪があります → There () () snow in the mountain.
- ④ 図書館にかくさん本があります → There () () books in the library.
- ⑤ その部屋にかくさん生徒がいます → There () () students in the room.
- ⑥ その部屋に少し生徒がいます → There are a () students in the room.
- ⑦ その部屋にほとんど生徒がいません → There are () students in the room.
- ⑧ プールに少し水があります → There is a () water in the pool.
- ⑨ プールにほとんど水がありません → There is () water in the pool.
- ⑩ その山に少し雪があります → There is a () snow in the mountain.

4. 並べ替えましょう[不要な語が1語あります]。(説明①~④参照)

- ① 公園に5匹犬がいます (there/ is/ are/ in the park/ dogs/ five)
→ _____
- ② 机の上にマンガがありましたか? (there/ is/ was/ on the desk/ a comic book)
→ _____
- ③ 家の前にたくさんファンがいます (there/ is/ are/ in front of the house/ many/ fans)
→ _____
- ④ 部屋に少し本があります (there/ are/ books/ few/ a few/ in the room)
→ _____
- ⑤ ボトルにほとんどワインがありません (there/ is/ are/ wine/ in the bottle/ little)
→ _____

第15章 比較(基礎編)

① 「AはBと同じ位～」

「同じ位～」という場合 **as ~ as** を使います。否定文にすると「…ほど～ない」という意味です。

- 例) Ken is as tall as she. → Ken isn't as tall as she.
 1. 私は彼女と同じ位年です → I am () () () she.
 2. 私は彼女ほど年ではないです → I am () as () as she.
 3. 彼は私と同じ位若いです → He is () () () I.

② 「AはBより～」

「より～」という場合、**~er than** を使います。例) Ken is taller than she.

1. 私は彼女より年です → I am () () she.
 2. これはあれより小さいです → This is () () that.
 3. 彼は私より若いです → He is () () I.

③ 「Aは1番～」

「1番～」という場合、**the ~est** を使います。例) Ken is the tallest.

1. 私は1番年です → I am () ().
 2. これは1番小さいです → This is () ().
 3. 彼は1番若いです → He is () ().

④ 「～の中で」

「…の中で」は **in** を使います。数字や **all** を含む場合 **of** を使います。

- 例) ケンはクラスの中で1番背が高いです → Ken is the tallest in his class.
 ケンは私達全員の中で1番背が高いです → Ken is the tallest of us all.
 1. 私はその3人の中で1番年です → I am the oldest () the three.
 2. これは日本で1番小さいです → This is the smallest () Japan.
 3. 彼は私達全員の中で1番若いです → He is the youngest () us all.

⑤ er, est のつけ方

er, est のつけ方は **ed** のつけ方と同じです。

6文字以上の語は er, est をつける代わりに **more, most** をつけます。例外) **pretty, strong**

1. big → () → () 4. beautiful → () → ()
 2. easy → () → () 5. strong → () → ()
 3. hot → () → () 6. slowly → () → ()

⑥ 不規則に変化する語

good(良い)/well(上手に) → better → best bad(悪い)/ill(病気で) → worse → worst
 many/much(たくさん) → more → most little(少ない) → less → least

チェック	問題	答え
	① ケンは彼女と <u>同じ位背が高い</u> です	Ken is <u>as tall as</u> she.
	① ケンは彼女 <u>ほど背が高くない</u> です	Ken isn't <u>as tall as</u> she.
	② ケンは彼女より背が高いです	Ken is <u>taller than</u> she.
	③ ケンは <u>1番背が高い</u> です	Ken is <u>the tallest</u> .
	④ ケンは <u>クラスの中で</u> 1番背が高い	Ken is the tallest <u>in his class</u> .
	④ ケンは <u>その5人の中で</u> 1番背が高い	Ken is the tallest <u>of the 5</u> .
	④ ケンは <u>私達全員の中で</u> 1番背が高い	Ken is the tallest <u>of us all</u> .
	⑤ er, est のつけ方	ed のつけ方と同じ
	⑤ 6文字以上の語の比較級・最上級	more, most をつける 例外) pretty, strong
	⑥ good(良い)	→ better → best
	⑥ bad(悪い)	→ worse → worst
	⑥ many/much(たくさん)	→ more → most
	⑥ little(少ない)	→ less → least
	← チェックした日	
	← 間違った数	

第15章 比較(基礎編)

名前

1. ()を埋めましょう。(説明①②参照)

- ① 彼は香川と同じ位年です → He is as () as Kagawa.
- ② 彼は香川ほど年ではないです → He is () as () as Kagawa.
- ③ 香川は彼より年です → Kagawa is () () he.
- ④ 彼はレニーと同じ位強いです → He is as () as Lenny.
- ⑤ 彼はレニーほど強くないです → He is () as () as Lenny.
- ⑥ レニーは彼より強いです → Lenny is () () him
- ⑦ ブラッドはトムと同じ位背が高いです → Brad is as () as Tom
- ⑧ ブラッドはトムより背が高いです → Brad is () () Tom.
- ⑨ 慎吾は剛と同じ位若いです → Shingo is as () as Tsuyoshi.
- ⑩ 慎吾は剛より若いです → Shingo is () () Tsuyoshi.

2. ()を埋めましょう。(説明③④参照)

- ① 中山は1番年です → Nakayama is the ().
- ② 中山はチームの中で1番年です → Nakayama is the () () the team
- ③ 中山は彼ら全員の中で1番年です → Nakayama is the () () them all.
- ④ ゴジラは1番強いです → Godzilla is the ().
- ⑤ ゴジラは世界で1番強いです → Godzilla is the () () the world.
- ⑥ ゴジラはその8人の中で1番強いです → Godzilla is the () () the 8.
- ⑦ ビルは世界で1番金持ちです → Bill is the () () the world.
- ⑧ ビルは私達全員の中で1番金持ちです → Bill is the () () us all.
- ⑨ 慎吾はスマップの中で1番若いです → Shingo is the () () SMAP.
- ⑩ 慎吾はその5人の中で1番若いです → Shingo is the () () the 5.

3. 比較級・最上級にしましょう。(説明⑤⑥参照)

- ① old → () → ()
- ② easy → () → ()
- ③ big → () → ()
- ④ hot → () → ()
- ⑤ large → () → ()
- ⑥ important → () → ()
- ⑦ strong → () → ()
- ⑧ beautiful → () → ()
- ⑨ good → () → ()
- ⑩ bad → () → ()

4. 並べ替えましょう[不要な語が1語あります]。(説明①～⑥参照)

- ① 猪木は馬場ほど背が高くないです (Inoki/ Baba/ taller/ as/ as/ isn' t/ tall)
→ _____
- ② 私の車はあなたのより大きいです (my car/ bigger/ bigger/ than/ is/ yours)
→ _____
- ③ 彼女は日本で1番速く走ります (She / the fastest/ in/ of/ Japan/ runs)
→ _____
- ④ 拓哉はその5人の中で1番人気です (Takuya/ the most popular/ in/ of/ is/ the 5)
→ _____
- ⑤ 日本が1番良いです (Japan/ the/ is/ best/ better)
→ _____